

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210566011001	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法(教育学部 中学校・特支・幼稚園) / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部の中学校専攻と特別支援専攻と幼稚園専攻		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazuikeya_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館 6 0 9 研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標/Course goals	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価(100%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集(テレビや新聞を見る、家族や友人と話をするなど)をしておくこと。(4h)		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	・教科書: 芦部信喜『憲法第七版』岩波書店 ・ポケット六法(有斐閣)も持参すること		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	4/5以上の出席が必須		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	新型コロナウイルスの影響もあり、オンライン授業になる可能性はあります。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	憲法の基礎
第 3 回	国民主権と天皇制
第 4 回	平和主義
第 5 回	基本的人権の基礎
第 6 回	包括的基本権と法の下での平等
第 7 回	精神的自由権 ( 1 )
第 8 回	精神的自由権 ( 2 )
第 9 回	経済的自由権
第 1 0 回	人身の自由・国務請求権
第 1 1 回	参政権・選挙に関する事柄
第 1 2 回	社会権
第 1 3 回	国会
第 1 4 回	内閣・予算
第 1 5 回	司法・地方自治・憲法改正

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210566011002	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法[人文・社会科学科目] / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由 選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部 of 学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazuikeya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館 6 0 9 研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標/Course goals	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価(100%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集(テレビや新聞を 見る、家族や友人と話をするなど)をしておくこと。(4h)		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	・教科書: 芦部信喜『憲法第七版』岩波書店 ・ポケット六法(有斐閣)も持参すること		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	4/5以上の出席が必須。加えて、初日(第1回と第2回)の講義を欠席した学生は、単位を取れませ るので注意して下さい。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	新型コロナの影響もあり、オンライン授業になる可能性はあります。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	憲法の基礎
第 3 回	国民主権と天皇制
第 4 回	平和主義
第 5 回	基本的人権の基礎
第 6 回	包括的基本権と法の下での平等
第 7 回	精神的自由権 ( 1 )
第 8 回	精神的自由権 ( 2 )
第 9 回	経済的自由権
第 1 0 回	人身の自由・国務請求権
第 1 1 回	参政権・選挙に関する事柄
第 1 2 回	社会権
第 1 3 回	国会
第 1 4 回	内閣・予算
第 1 5 回	司法・地方自治・憲法改正

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210566011003	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法(教育学部 小学校のみ対象) [人文・社会科学科目] / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	井田 洋子 / Ida Yoko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由 選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育学部 1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	smile_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 本館 5 0 6		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日授業後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	国の根本規範としての憲法の実在意義ならびに基本原理(普遍的価値とされる基本的人権の尊重・ 国民主権・権力分立・違憲立法審査制と、日本独自の価値である象徴天皇制と絶対的戦争放棄)を、 歴史的、比較法的視点を踏まえ、具体的事例を参考にしながら考察する。		
授業到達目標/Course goals	受講生が 憲法の基本概念を理解し、自分の言葉で説明できるようになること、主権者としての 自覚をもち、日本における憲法をめぐる問題を自身の問題として捉え、考えることができること、 地球市民として、日本社会だけでなく国際社会の諸問題にも目をむけることができるようになる こと。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	憲法理念に関する具体的問題の理解に関するレポート40点、定期試験(憲法の基本原理の理解・ 国内外の時事問題・自分の言葉で語ることができる能力等を観る)60点の総合評価。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 事前に配布するレジユメの書かれている内容について、特にキーワードを中心に自身で 調べること(2h) 事後学習: 授業で取り上げた内容について、教科書やレジユメをもとに理解を深めること(2h)		
キーワード/Keywords	立憲主義、民主主義、国民主権、基本的人権、個人の尊重、		
教科書・教材・参考書/Materials	【テキスト】伊藤真『伊藤真の日本一やさしい「憲法」の授業』KADOKAWA  毎回の授業においてレジユメを配布するとともに、適宜判例や参考文献についての情報を学生に発 信する。 前半・後半共通『ポケット六法』有斐閣等、いずれかの六法書 後半『世界憲法集』岩波書店		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビ等で日々のニュースに触れ、国内外の状況に通じていることが、この授業を理解する上で有益である。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	憲法とはなにか 基本概念の把握－国家、民主主義、立憲主義、法治国家等
第2回	憲法制定過程と2つの天皇制
第3回	国民主権と選挙制度
第4回	法の下での平等
第5回	信教の自由と政教分離
第6回	表現の自由 1
第7回	表現の自由 2
第8回	人身の自由
第9回	社会権
第10回	外国人の人権
第11回	国家権力の構造?立法権と行政権の関係
第12回	司法権
第13回	憲法9条と戦争放棄 1
第14回	憲法9条と戦争放棄 2
第15回	憲法改正問題
第16回	試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210566011004	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法[人文・社会科学科目] / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら憲法を学ぶ		
授業到達目標/Course goals	憲法が何を定めているのか、自分とどのような関わりがあるのかを理解できるようになる。また憲法にかかわる諸問題について論説できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況を示す課題の提出30点、小テスト20点、定期試験50点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易になる。(2h) 復習 教科書と配布レジュメを再読し、理解を確実にするように努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: 伊藤正己『憲法入門(第4版補訂版)』有斐閣双書 参考書: 野中俊彦ほか『憲法判例集(第11版)』有斐閣新書 その他: 条文は毎回持参すること。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 <a href="http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html">http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html</a>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	法とは何か、憲法とその他の法律
第 2 回	日本国憲法の沿革
第 3 回	国民主権 1
第 4 回	国民主権 2
第 5 回	平和国家 1
第 6 回	平和国家 2
第 7 回	基本的人権 1 (総論)
第 8 回	基本的人権 2 (法の下での平等)・小テスト
第 9 回	基本的人権 3 (自由権 1)
第 1 0 回	基本的人権 4 (自由権 2)
第 1 1 回	基本的人権 5 (社会権)
第 1 2 回	基本的人権 6 (新しい人権)
第 1 3 回	三権分立 1
第 1 4 回	三権分立 2
第 1 5 回	憲法の保障・国法の形式
第 1 6 回	定期試験



学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210566011005	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法[人文・社会科学科目] / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由 選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら憲法を学ぶ		
授業到達目標/Course goals	憲法が何を定めているのか、自分とどのような関わりがあるのかを理解できるようになる。また憲 法にかかわる諸問題について論説できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況を示す課題の提出30点、小テスト20点、定期試験50点の合計100点のうち60点以上 を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易にな る。(2h) 復習 教科書と配布レジュメを再読し、理解を確実にするように努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：伊藤正己『憲法入門(第4版補訂版)』有斐閣双書 参考書：野中俊彦ほか『憲法判例集(第11版)』有斐閣新書 その他：条文は毎回持参すること。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 <a href="http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html">http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html</a>		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	法とは何か、憲法とその他の法律
第 2 回	日本国憲法の沿革
第 3 回	国民主権 1
第 4 回	国民主権 2
第 5 回	平和国家 1
第 6 回	平和国家 2
第 7 回	基本的人権 1 (総論)
第 8 回	基本的人権 2 (法の下での平等)・小テスト
第 9 回	基本的人権 3 (自由権 1)
第 1 0 回	基本的人権 4 (自由権 2)
第 1 1 回	基本的人権 5 (社会権)
第 1 2 回	基本的人権 6 (新しい人権)
第 1 3 回	三権分立 1
第 1 4 回	三権分立 2
第 1 5 回	憲法の保障・国法の形式
第 1 6 回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210566011006	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 [ 人文・社会科学科目 ] / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 ( 科目責任者 ) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 ( オムニバス科目等 ) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由 選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 ( クラス等 ) / Intended year ( class )	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nishitsu.nu gmail.com ( メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください )		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら憲法を学ぶ		
授業到達目標 / Course goals	憲法が何を定めているのか、自分とどのような関わりがあるのかを理解できるようになる。また憲 法にかかわる諸問題について論説できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 ( 1つ以上3つまで ) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への参加状況を示す課題の提出30点、小テスト20点、定期試験50点の合計100点のうち60点以上 を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 ( 学習指導方法 ) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易にな る。( 2h ) 復習 教科書と配布レジュメを再読し、理解を確実にするように努めること。( 2h )		
キーワード / Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書：伊藤正己『憲法入門 ( 第4版補訂版 ) 』有斐閣双書 参考書：野中俊彦ほか『憲法判例集 ( 第11版 ) 』有斐閣新書 その他：条文は毎回持参すること。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 <a href="http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html">http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html</a>		
受講要件 ( 履修条件 ) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility ( for students with disabilities )	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 ( 上記連絡先参照 ) または「アシスト広場」 ( 障がい学生支援室 ) にご相談下さい 。 アシスト広場 ( 障がい学生支援室 ) 連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948		
備考 ( URL ) / Remarks ( URL )			

学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	法とは何か、憲法とその他の法律
第2回	日本国憲法の沿革
第3回	国民主権 1
第4回	国民主権 2
第5回	平和国家 1
第6回	平和国家 2
第7回	基本的人権 1 (総論)
第8回	基本的人権 2 (法の下での平等) ・小テスト
第9回	基本的人権 3 (自由権 1)
第10回	基本的人権 4 (自由権 2)
第11回	基本的人権 5 (社会権)
第12回	基本的人権 6 (新しい人権)
第13回	三権分立 1
第14回	三権分立 2
第15回	憲法の保障・国法の形式
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210569061401	科目番号 / Course code	05690614
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12661_002		
授業科目名 / Course title	オランダの文化 [ 人文・社会科学科目 ] / Dutch Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 ( 科目責任者 ) / Instructor in charge of the course	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 ( オムニバス科目等 ) / Instructor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 ( クラス等 ) / Intended year ( class )	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noboruy nagasaki-u.ac.jp ( メールを送信する際は @ に置き換えて送信してください )		
担当教員研究室 / Office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL / Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	日本と北ヨーロッパの中心国の一つとして発展してきたオランダとの交流が江戸初期に長崎から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、北ヨーロッパの歴史的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の修得と文化理解を目的とします。		
授業到達目標 / Course goals	オランダ・北ヨーロッパの文化と歴史、または、日蘭交流についての基本的な知識を修得します。なお、講義の理解度に応じて、課題内容の順番などを変更することがあります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 ( 1 つ以上 3 つまで ) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験、または、レポート ( 40点 )、授業中の提出物・課題 ( 15 x 4 = 60点 ) = 合計100点のうち60点以上合格とします。		
各回の授業内容・授業方法 ( 学習指導方法 ) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	講義で配布された資料を読み、資料と講義の内容に基づいたレポート課題をしたうえで講義にのぞむこと ( 2h ) 講義の内容を復習する ( 2h )		
キーワード / Keywords	オランダの歴史・オランダの文化・オランダの社会・オランダの教育		
教科書・教材・参考書 / Materials	教材 : プリント教材 毎回配布します。		
受講要件 ( 履修条件 ) / Prerequisites	全回出席が原則		
アクセシビリティ / Accessibility ( for students with disabilities )	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 ( 上記連絡先参照 ) または「アシスト広場」 ( 障がい学生支援室 ) にご相談下さい。 アシスト広場 ( 障がい学生支援室 ) 連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948		
備考 ( URL ) / Remarks ( URL )			

学生へのメッセージ/Message for students	講義の内容をしっかりと聞き、渡された教材を予習・復習すれば、オランダや西欧の文化と歴史を広く、楽しく理解できるようになります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	01. オランダの先史時代 02. ローマ時代 (紀元前57年-紀元後500年) 03. 北ヨーロッパでのキリスト教の布教 04. カール大帝 (756 -814)
第2回	05. ヘッペン・オッタ・フォーゴラ 文語の発展 06. フロリス5世 (1254 -1296) とホラント伯(オランダ)の発展 ・ 英仏100年戦争 ・ 黒死病(ペスト) 07. ハンザ同盟の貿易 (1356年 - 1450年)
第3回	08. エラスムスと人文主義 (1469 -1536) 09. カール5世 (1500-1558) ・ ブルゴーニュ公爵領ネーデルランデン ・ カール5世 ハプスブルグ領ネーデルランデン 10. 聖画像・偶像破壊 11a. オラニエ公ウィレム1世 (1533-1584) ・ ネーデルランデンの反乱の始まり(80年戦争)(1568-1648)
第4回	11b. オラニエ公ウィレム1世 (1533-1584) ・ ネーデルランデンの反乱の始まり(80年戦争)(1568-1648) 12. 7ネーデルランデン共和国時代 (1588 -1795) 13. 15・16世紀の美術
第5回	14. オランダ 東インド会社 (1602-1799) 15. 平戸と出島 ・ 1609年 平戸オランダ商館創立 ・ 1641年 出島への移動
第6回	16. デ・ベームステル干拓地 (1612) 17. アムステルダム運河 (1613 -1662) 18. 公定オランダ語訳聖書 (1637)
第7回	19b. 黄金時代の芸術 (1602 - 1672) 20. アトラス・マイオル大地図帳 (1662) 21. 黄金時代の学者たち 22. Zeehelden van de Gouden Eeuw 黄金時代の海の英雄たち
第8回	23. 災厄の年 24. 奴隷制 (1637 -1863)
第9回	25. Buitenhuizen in de 17e en 18e Eeuw 17・18世紀の別荘 26. バタビア共和国・バタビア連邦時代 (1795 -1806) ・ De Bataafse Republiek バタビア共和国の樹立 (1795- 1801) ・ Het Bataafs Gemenebest バタビア連邦の樹立 (1801 -1806)
第10回	27. Napoleon Bonaparte en de Nederlanden ナポレオン・ボナパルテとネーデルランデン ・ Koninkrijk Holland ホラント王国時代 (1806 - 1810) ・ Onderdeel van het Franse Keizersrijk フランス第一帝国時代 (1810 - 1813) 28. ネーデルランデン連合公国・ネーデルランデン連合王国時代 (1813-1830/39) ・ 1813年 Soeverein Vorstendom der Verenigde Nederlanden ネーデルランデン連合公国の誕生 ・ 1815年 Verenigd Koninkrijk der Nederlanden ネーデルランデン連合王国の樹立 ・ 1830年 ベルギー独立宣言・独立戦争 ・ 1839年 ベルギー独立とネーデルランデン王国の誕生 (1830/1839) 29. Het Koninkrijk der Nederlanden ネーデルランデン王国 1839 - )
第11回	30. マクス・ハフェラール (1860) 31. 児童労働 32. アレッタ・ヤコブスと女性解放 33. フィンセント・ファン・ゴッホ (1853-1890) 34. 第一次世界大戦 (1914-1918)

第12回	<p>35. デ・ステイル</p> <p>36. 1920-1930年代 (第一次と第二次世界大戦の間の期間)</p> <p>37a. 第二次世界大戦 オランダ</p>
第13回	<p>37b. 第二次世界大戦 オランダ領東インド</p> <p>38. オランダ領東インドの独立 (1945 - 1949)</p> <p>39. 1975年 オランダ領スリナムの独立</p> <p>40. 旧 オランダ領アンティル諸島</p> <p>41. 1953年の大洪水とデルタ計画</p>
第14回	現在のオランダの 政治・経済など
第15回	現在のオランダの 養育・福祉・行事・食事など

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210569061501	科目番号 / Course code	05690615
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12711_002		
授業科目名 / Course title	オランダの言語[人文・社会科学科目] / Dutch Language		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初級レベルのオランダ語入門講義です。 授業には、視聴覚教材も使用し、より分かりやすく、より楽しくオランダ語を学習することで、オランダ文化への興味を喚起させることをねらいとしています。		
授業到達目標/Course goals	初級レベルのオランダ語ができるようにします。資料に示された約600語のオランダ語を修得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	教材 : プリント教材 毎回配布します。成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験(50点)、宿題課題(12×3=36点)授業中の発表など(14点)=合計100点のうち60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義で配布された資料を学習したうえ講義にのぞむこと。(2h) 講義の内容を復習する(2h)		
キーワード/Keywords	オランダ語、オランダ語入門		
教科書・教材・参考書/Materials	教材プリント配布 CD ROM 100円		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全回出席が原則。CD ROMは必ず購入すること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		



備考 ( URL ) /Remarks ( URL )	
学生へのメッセージ/Message for students	オランダ語という新しい言語を勉強する不安もあると思いますが、15回の講義でオランダ語の基本をしっかり、楽しく教えますので、是非挑戦してみてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか ( Y / N ) / Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 ( 日時 ) / Time ( date and time )	授業内容 / Contents
第1回	Les 1 ' Hallo, ik heet Ronald '
第2回	Les 2 ' Wat is uw naam? '
第3回	Les 3 ' Woon je hier al lang? '
第4回	Les 4 ' Aangenaam kennis te maken '
第5回	1 ? 4 復習
第6回	Les 5a ' Mijn familie ' Les 5b ' Hoe laat is het? '
第7回	Les 6 ' Wat doe je vandaag? '
第8回	Les 7 ' Een week heeft zeven dagen '
第9回	Les 8 ' Een afspraakje '
第10回	5 ? 8 復習
第11回	Les 9 ' In een restaurant '
第12回	Les 10 ' Spreek je Nederlands? '
第13回	Les 11a ' De weg vragen ' Les 11b ' De weg vragen '
第14回	Les 12 ' Boodschappen '
第15回	9 - 1 2 復習 講義まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210588005301	科目番号 / Course code	05880053
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12261_002		
授業科目名 / Course title	芸術と文化 [ 人文・社会科学科目 ] / Arts and Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
授業担当教員名 ( 科目責任者 ) / Instructor in charge of the course	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
授業担当教員名 ( オムニバス科目等 ) / Instructor(s)	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 ( クラス等 ) / Intended year ( class )	主対象、1年~4年 全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	horiuchi nagasaki-u.ac.jp ( メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください )		
担当教員研究室 / Office	教育学部音楽棟 2 階 2		
担当教員TEL / Tel	095 \ 819-2343		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 6時間目		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	長崎の芸術文化活動の実態を概観し、実際に文化施設に出かけ、芸術鑑賞を行う。		
授業到達目標 / Course goals	音楽文化を取り巻く状況が理解でき、実際の演奏会を鑑賞し、生の演奏に触れる喜びを感じ取ることが出来る。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 ( 1 つ以上 3 つまで ) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	推薦する文化イベントから 2 つを選択し、自分の意見を交えた芸術体験レポートを提出。レポートによる評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法 ( 学習指導方法 ) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業で取り上げられた課題について、各自テーマを選び、文献や音楽映像、ライブパフォーマンスなどで理解を深める 2h		
キーワード / Keywords	音楽文化、文化ホール、自主文化事業、音楽祭		
教科書・教材・参考書 / Materials	その都度指示します		
受講要件 ( 履修条件 ) / Prerequisites	心を静めて熱心に芸術鑑賞ができること		
アクセシビリティ / Accessibility ( for students with disabilities )	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 ( 上記連絡先参照 ) または「アシスト広場」 ( 障がい学生支援室 ) にご相談下さい。 アシスト広場 ( 障がい学生支援室 ) 連絡先 ( TEL ) 095-819-2006 ( FAX ) 095-819-2948		
備考 ( URL ) / Remarks ( URL )			

学生へのメッセージ/Message for students	外部講師の先生方のご都合により、授業内容が変更になる場合があります。授業開始時に、スケジュールを示します。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	この授業の進め方、ガイダンス
第2回	「長崎の文化活動について」
第3回	「様々な映像作品に目を向けよう 」
第4回	「様々な映像作品に目を向けよう 」
第5回	「音楽文化活動としての音楽演奏 」
第6回	「音楽文化活動としての音楽演奏 」
第7回	「文化イベント・コンサートの作り方」
第8回	「文化施設に出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第9回	「美術と音楽、その深い関係について」
第10回	「美術と音楽、そして芸術について」
第11回	「音楽芸術に親しむ方法」
第12回	「季節をめぐるの音楽」
第13回	「文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第14回	「長崎の音楽活動、その行方」
第15回	「人生の友としての舞台芸術」
第16回	(予備)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210588023901	科目番号 / Course code	05880239
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15921_002		
授業科目名 / Course title	モノポリーで学ぶ教養としてのビジネス[人文・社会科学科目] / Business foundations through playing MONOPOLY?		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	thaya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館627研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に説明します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	MONOPOLYのゲーム体験をふまえて、ゲームの舞台を知り(土地・税制史,銀行,企業金融,民法),楽しむことの意義を学術的に検討し(定石,交渉術と遊び,アクティブラーニング),さらに実務へのゲートウェイを探究する(不動産所得の経費,サービスと経営成果,経営リテラシー)。		
授業到達目標/Course goals	「自ら学び,考え,主張し,行動することができる。」「主体性をもって他者と協働できる。」これらのために,紳士・淑女としてゲームを楽しみ,また振る舞えること。ゲームと現実社会との基本的な異同を説明できること。ゲームと人文・社会科学入門とのインターフェイスを説明できること。		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ボードゲームMONOPOLYのプレイヤーと銀行系の両方を体験させる。 F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	ゲームへの関与(30%),報告・小演劇ならびに質疑応答(30%),レポート課題(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	レポート課題ならびに報告・小演劇にむけて教科書の入手と精読,およびLACSにアップされる資料のチェック。開講までに教科書と公式ルールを,不十分な理解のでもよいので,計画的に精読しておくこと。ただし,事後に精読することにより理解が補われまた深まるので事後学習を怠らないこと。(事前2h,事後2h)		
キーワード / Keywords	MONOPOLY,不動産経営,資産運用,複式簿記,抵当権,処世術・交渉術,土地・税制,民法		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書:林徹(2019)『モノポリーで学ぶビジネスの基礎(第2版)』中央経済社。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	交渉や取引に関心があればベストです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	林徹/横浜国立大学経営学部第二部経営学科夜間5年課程(所得税法上の勤労学生:1983-1988)に在籍中,老舗割箸小売商,有限会社遠州屋商店(横浜市中区長者町)において,横浜・川崎・藤沢・鎌倉などに位置する割烹・懐石・中華・その他飲食店・弁当加工工場などの取引(御用聞き・配達・納品・請求書手交・各種クレーム対応・約束手形と小切手の取扱を含む集金・営業と挨拶まわり),視覚障がいをおもちの内職さんとの取引(割箸袋への割箸の挿入),その他の経験/商慣行を含む小売商における取引実務の全般,トラブルに対する実践的な対処の紹介。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス,デモンストレーション,グループ分け
第2回	ゲーム実践1
第3回	ゲーム実践2
第4回	ゲーム実践3,重要なルールの再確認
第5回	報告または小演劇(1)と質疑応答
第6回	報告または小演劇(2)と質疑応答
第7回	報告または小演劇(3)と質疑応答
第8回	報告または小演劇(4)と質疑応答
第9回	ゲーム実践4
第10回	ゲーム実践5
第11回	ゲーム実践6
第12回	ゲーム実践7
第13回	報告または小演劇(5)と質疑応答
第14回	報告または小演劇(6)と質疑応答
第15回	課題レポートの報告会
第16回	反省と今後の展望

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/09/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	202105880239Z1	科目番号 / Course code	05880239
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15921_002		
授業科目名 / Course title	モノポリーで学ぶ教養としてのビジネス[人文・社会科学科目_上限外] / Business foundations through playing MONOPOLY?		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	thaya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館627研究室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー/Office hours	開講時に説明します。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	MONOPOLYのゲーム体験をふまえて、ゲームの舞台を知り(土地・税制史, 銀行, 企業金融, 民法), 楽しむことの意義を学術的に検討し(定石, 交渉術と遊び, アクティブラーニング), さらに実務へのゲートウェイを探究する(不動産所得の経費, サービスと経営成果, 経営リテラシー)。		
授業到達目標/Course goals	「自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。」「主体性をもって他者と協働できる。」これらのために, 紳士・淑女としてゲームを楽しみ, また振る舞えること。ゲームと現実社会との基本的な異同を説明できること。ゲームと人文・社会科学入門とのインターフェイスを説明できること。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ボードゲームMONOPOLYのプレイヤーと銀行系の両方を体験させる。 F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ゲームへの関与(30%), 報告・小演劇ならびに質疑応答(30%), レポート課題(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	レポート課題ならびに報告・小演劇にむけて教科書の入手と精読, およびLACSにアップされる資料のチェック。開講までに教科書と公式ルールを, 不十分な理解のでもよいので, 計画的に精読しておくこと。ただし, 事後に精読することにより理解が補われまた深まるので事後学習を怠らないこと。(事前2h, 事後2h)		
キーワード/Keywords	MONOPOLY, 不動産経営, 資産運用, 複式簿記, 抵当権, 処世術・交渉術, 土地・税制, 民法		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: 林徹(2019)『モノポリーで学ぶビジネスの基礎(第2版)』中央経済社。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	交渉や取引に関心があればベストです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	林徹/横浜国立大学経営学部第二部経営学科夜間5年課程(所得税法上の勤労学生:1983-1988)に在籍中,老舗割箸小売商,有限会社遠州屋商店(横浜市中区長者町)において,横浜・川崎・藤沢・鎌倉などに位置する割烹・懐石・中華・その他飲食店・弁当加工工場などの取引(御用聞き・配達・納品・請求書手交・各種クレーム対応・約束手形と小切手の取扱を含む集金・営業と挨拶まわり),視覚障がいをおもちの内職さんとの取引(割箸袋への割箸の挿入),その他の経験/商慣行を含む小売商における取引実務の全般,トラブルに対する実践的な対処の紹介。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス,デモンストレーション,グループ分け
第2回	ゲーム実践1
第3回	ゲーム実践2
第4回	ゲーム実践3,重要なルールの再確認
第5回	報告または小演劇(1)と質疑応答
第6回	報告または小演劇(2)と質疑応答
第7回	報告または小演劇(3)と質疑応答
第8回	報告または小演劇(4)と質疑応答
第9回	ゲーム実践4
第10回	ゲーム実践5
第11回	ゲーム実践6
第12回	ゲーム実践7
第13回	報告または小演劇(5)と質疑応答
第14回	報告または小演劇(6)と質疑応答
第15回	課題レポートの報告会
第16回	反省と今後の展望

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210588027201	科目番号 / Course code	05880272
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16711_002		
授業科目名 / Course title	リスク社会を読み解くための人文社会科学概論 [ 人文・社会科学科目 ] / “Risk Society” from the Perspective of Humanities and Social Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名 ( 科目責任者 ) / Instructor in charge of the course	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名 ( オムニバス科目等 ) / Instructor(s)	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 ( クラス等 ) / Intended year ( class )	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takizawa nagasaki-u.ac.jp ( メールを送信する際は を@に変更して送信してください )		
担当教員研究室 / Office	総合教育研究棟		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時 ( 要事前連絡 )		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	現代社会のリスクは、様々な要因が複雑に絡み合い、ますます不確実性、予見不可能性に満ちたものとなっている。社会学者のベックは、まさにそのような現代社会の様相を「リスク社会」という言葉で表現した。そこでは、モダニティの持続的な発展および産業社会の存続可能性自体が、その前提としてリスクを内包している。 様々なレベルにおける社会的カストロフィ ( 崩壊 ) を回避しつつ、人類が21世紀を生き残り、100年後も幸福に生きられるような社会を実現するために、人文社会科学はどのような貢献が可能であろうか。本授業では、人文社会科学諸分野の「リスク社会」に対する捉え方を俯瞰しながら、このような人類共通の問いについて考察する。		
授業到達目標 / Course goals	( 1 ) 人文社会科学諸分野で「リスク社会」がどのように捉えられ、現在どのような問題が提示されているかを理解する。( DP-2,4 ) ( 2 ) ( 1 ) の理解にもとづき、身近な社会的事象を「リスク社会」という枠組みを通して自分なりに解釈し、表現できるようになる。( DP-1,2,4 )		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 ( 1 つ以上 3 つまで ) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への積極的参加 ( 授業ごとのアンケート提出など ) 50%、学期末レポート50%		
各回の授業内容・授業方法 ( 学習指導方法 ) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	【事前学習】授業の内容に関連する社会事象について論文やニュースなどから情報を収集して授業に臨む。( 2h ) 【事前学習】授業の後には、授業内容に関連する書籍や論文を読み、授業についての理解を深める。( 2h )		
キーワード / Keywords	リスク社会、不安、宗教、民族主義、排外主義、歴史認識、災害、移動、教育格差、経済格差、貧困、差別、虐待、移民、難民、テロリズム、紛争		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は使用しない。参考文献については授業中に適宜指示する。		
受講要件 ( 履修条件 ) / Prerequisites			



アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	はじめに 「リスク社会」とは何か （滝澤克彦）
第2回	リスク社会論における「不安」の再検討 （南誠）
第3回	リスク社会における「境界文化」研究の可能性 （南誠）
第4回	現代社会におけるリスクと宗教（1） （滝澤克彦）
第5回	現代社会におけるリスクと宗教（2） （滝澤克彦）
第6回	リスク社会における子供（1） （見原礼子）
第7回	リスク社会における子供（2） （見原礼子）
第8回	途上国における母子保健課題 （小松悟）
第9回	途上国貧困社会におけるリスクの多様性 （小松悟）
第10回	現代社会が抱える環境問題 （ヌルガリエヴァ・リヤイリヤ）
第11回	カザフスタンの環境問題 （ヌルガリエヴァ・リヤイリヤ）
第12回	リスク社会における国連の役割 （ヌルガリエヴァ・リヤイリヤ）
第13回	国連平和維持活動と紛争の解決 （ヌルガリエヴァ・リヤイリヤ）
第14回	紛争とリスク社会 （コンベル・ラドミール）
第15回	リスク社会と安全 （コンベル・ラドミール）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594000101	科目番号 / Course code	05940001
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	アジアにおける人の移動と日本[人文・社会科学科目] / Migration in Asia and Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	南 誠 / Minami Makoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	南 誠 / Minami Makoto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	南 誠 / Minami Makoto		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lsk-minami nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟10F		
担当教員TEL/Tel	819-2926		
担当教員オフィスアワー/Office hours	必ず事前にメールで連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人の移動が活発に行われる今日のグローバル社会を生きる誰もが、人の移動によって生じる諸問題に直面する。この授業ではアジアという地域に焦点を定めて、人の移動にかかわる諸現象(移動の歴史、移動をもたらす諸要因や、人の移動による文化交流と新たな社会空間の生成など)を講義することで、アジアと日本の多文化状況や、異なる言語と文化を持つ人々との共生と協働について理解を深めます。		
授業到達目標/Course goals	アジアにおける人の移動や、日本との関係に関する理解を深めつつ、人の移動によって惹起した具体的な諸現象や、日本国内で生活する外国住民の歴史と現状、および、日本の「多文化」化社会の実態を自分の言葉で説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	最終レポートor試験(50%)、授業および討論への参加度(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習(2h) 事後学習(2h)		
キーワード/Keywords	グローバリゼーション、国際移民、エスニシティ、ディアスポラ、社会的包摂と排除、多文化共生、境界文化、歴史記憶、東アジア共同体		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はとくに指定しない。授業のなかで適宜に課題文献を紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)	シラバスに変更等が生じた場合は、授業中に改めて説明する。		

学生へのメッセージ/Message for students	人の移動を考えることは、異文化交流のための知識を養うことでもあります。しかしそれ以上に、日本に住む外国住民の問題を他人事ではなく、自分も生活する日本の多文化化社会の課題として考えるようになることが大事です。本講義の聴講を通して、是非ともそうした感性を培ってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロ
第2回	映画で考える人の移動
第3回	グローバル化時代における人の移動とアジア
第4回	国民国家と国際移民
第5回	人の移動へのアプローチ
第6回	日本と長崎をめぐる人の移動
第7回	日本人の海外移動と景観?@
第8回	日本人の海外移動と景観?A
第9回	アジアにおける人の移動と歴史記憶
第10回	アジアにおける人の移動と言語・文化
第11回	多みんぞくニホンのかたち
第12回	境界文化のポリティクス
第13回	地域社会と移民コミュニティ
第14回	他者との共生
第15回	総括
第16回	試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594000301	科目番号 / Course code	05940003
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	アフリカ入門[人文・社会科学科目] / Introduction to African Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	増田 研 / Masuda Ken		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	増田 研 / Masuda Ken		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	増田 研 / Masuda Ken		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	オンライン		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ken-m nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟 (文教キャンパス) 2F		
担当教員TEL/Tel	内線2923		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日14:30-17:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	アフリカ大陸は日本からはるか彼方に位置する。だが日本とアフリカは、ひろくヨーロッパやアジアと繋がるひとつの文化的世界を形成している。講義はアフリカと世界とのかかわりを理解する歴史的な内容と、現代のアフリカ社会をとりまく主要な課題を中心課題に据えて進められる。		
授業到達目標/Course goals	アフリカ地域に関する基本的な知識を習得し、世界史的な位置づけを明確に説明できること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義の予習・復習および提出物による評価：70% 期末試験による評価：30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	実践学習：LACSで配付される資料を事前に読んでから講義に臨むこと。 事後学習：講義終了時に指示される課題 (調べ学習を含む) に取り組むこと。		
キーワード/Keywords	アフリカ、世界史、植民地、開発		
教科書・教材・参考書/Materials	【主要な参考書】 宮本正興・松田素二 (編) 『新書アフリカ史 (改訂新版)』講談社現代新書、2018年 遠藤貢・関谷雄一 (編) 『社会人のための現代アフリカ講義』東京大学出版会、2017年		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	アフリカは日本とほとんど関わりがないように思われていますが、実際はそうではありません。みなさんが社会の中核を担うころには、アフリカは大きなプレゼンスを持つようになります。遠からず、アフリカを知っていることが社会の常識になるでしょう。その時代を先取りしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	【「アフリカ」の多様性】 アフリカ大陸および隣接地域の地理環境や言語分布といった基礎情報を共有する。とりわけ生業経済の多様性、キリスト教とイスラーム、地中海やインド洋を介した外部との交渉の歴史などを概説し、「アフリカ」を一括りにできないことを理解する。
2	【探検とアフリカ「発見」(1)】 アフリカが西洋によって発見された経緯と世界史における位置づけ
3	【探検とアフリカ「発見」(2)】 アフリカが西洋によって発見された経緯と世界史における位置づけ
4	【奴隷交易と人種問題(1)】 奴隷交易の経済的側面とその世界史的な位置づけを考える
5	【奴隷交易と人種問題(2)】 奴隷交易の経済的側面とその世界史的な位置づけを考える
6	【植民地化プロセスと初期抵抗】 西洋諸国による植民地化のプロセスとそれに対する初期抵抗
7	【植民地経営】 西洋、とりわけイギリスによるアフリカ支配の方法論
8	【国家の独立と、独立後の課題】 1960年代にピークを迎えた独立がアフリカにもたらした新たな問題
9	【近代国民国家と「民族」概念】 現代のアフリカ諸国が抱える「国家と民族」の問題を整理する
10	【現代のアフリカ(1) 1990-2019】 1990年代以降のアフリカ社会の急激な変化、とくに政治の安定化とインフラの整備に着目する
11	【現代のアフリカ(2) アフリカにおける国家の崩壊】 近年問題とされる「破綻国家」の概念とその実状を紹介する
12	【現代のアフリカ(3) 社会開発】 社会開発とくに教育の普及に焦点を当てる
13	【現代のアフリカ(4) 保健状況の改善】 社会開発とくに基礎的医療の普及に焦点を当てる
14	【現代のアフリカ(5) 長崎大学とアフリカ】 アフリカ社会が抱えている保健・医療・感染症問題と、長崎大学の取り組みを理解する。
15	【未来のアフリカ】 アフリカにおける急激な人口増加が、今世紀の世界にもたらすインパクトを予測する
16	最終試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594000901	科目番号 / Course code	05940009
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	お金を通して社会・人間を考える[人文・社会科学科目] / Money, Society and Economy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	深浦 厚之 / Atsuyuki Fukaura		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	深浦 厚之 / Atsuyuki Fukaura		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	深浦 厚之 / Atsuyuki Fukaura		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	afukaura_nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所2階		
担当教員TEL/Tel	095-820-6359		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週金曜日午後2時から午後3時まで。 教官研究室(東南アジア研究所210、095-820-6359、afukaura@nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview			
授業到達目標/Course goals	長崎大学が掲げる卒業時の人物像(共有学士像)形成の基盤を作り上げる。 現代社会が直面しているテーマを学びながら、批判的精神や探求能力を育成する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	欠席回数5回以下の受講者のみについて下記の方法で単位認定の可否を判断する。 1. 振り返りシート(10%)および中間試験に替えて実施するレポート(10%) 2. 学期末試験(80%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各章ごとに簡単な練習問題があり、毎回の講義内容に対応した問題を指定するので次回講義までに 考えておくこと。同時に次回講義をより効率的に理解するためのキーワードを提示するので可能な 限り、その意味を調べておくこと。		
キーワード/Keywords	経済活動・貨幣・金利		
教科書・教材・参考書/Materials	<対面で行う場合>LACSにアップロードした講義資料を用いる。必ずプリントアウトすること。講 義中のPCおよびスマートフォンの使用は厳禁。 なお、感染の拡がりの状況によってはリアルタイムオンライン講義を行うこともある。この場合は LACSを経由したzoomで行う。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	社会科学の視点・経済学の視点
第2回	交換経済とその効果: 交換と私的所有権
第3回	交換経済とその効果: 同意に至る路・ゲーム理論
第4回	交換経済とその効果: パレート最適と比較優位
第5回	消費者の意思決定プロセス: 消費量の決定と需要法則
第6回	消費者・生産者の意思決定プロセス: 需要法則と利潤最大化原則
第7回	需要法則と利潤最大化原則の例外
第8回	貨幣と経済活動: 欲望の二重の一致
第9回	貨幣と経済活動: 貨幣の多面性
第10回	不確実性の経済学: 期待効用・モラルハザード
第11回	不確実性の経済学: 自己選抜
第12回	市場の失敗: 公共財
第13回	市場の失敗: 中古車売買・独占
第14回	経済活動と時間: 利子率の効果
第15回	経済活動と時間: 利子率の効果

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594001501	科目番号 / Course code	05940015
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	ロシア語(初級) [人文・社会科学科目] / Russian for Beginners		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	NURGALIYEVA LYAILYA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	NURGALIYEVA LYAILYA		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	NURGALIYEVA LYAILYA		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	Anyone, who is interested		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lyailya.nurgaliyeva@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5階 助教室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2938		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Before and after class or by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	This course aims at providing students with basic knowledge of Russian language for a successful interaction with the Russian-speaking people. Students will gain understanding not only of Russian language but also the culture of the post-Soviet countries. Also, there will be a discussion of the differences between values in Japan and those in the		
授業到達目標/Course goals	In addition to further improving students' reading and speaking skills, the main objective of this course is to help students gain a broader perspective on different		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Attendance: 10% In-class discussion participation: 20% Homework: 25% Final Test: 45 %		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 小テストや最終試験等の準備。事前資料がある場合は資料を読むこと。(2h) 復習: 分からなかった単語を授業後に自分で調べるようにすること。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	The materials will be distributed during the course. もっとロシア語の知識を深めていきたい方は、ご参考になさってください: 安岡治子, 2011, 『総合ロシア語入門』研究者		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			



アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
4/8	アルファベット（前半）
4/15	アルファベット（後半）
4/22	挨拶
5/13	自己紹介
5/20	名詞の性
5/27	名詞の複数形
6/3	形容詞
6/10	動詞の現在人称変化（第1変化）
6/17	動詞の現在人称変化（第2変化）
6/24	前置格（単数）
7/1	生格（単数）
7/8	対格（単数）
7/15	数詞
7/22	形容詞の比較級と最上級
7/29	最終テスト

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594001701	科目番号 / Course code	05940017
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	異文化理解の実際[人文・社会科学科目] / Understanding of Different Cultures		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri, 隈上 麻衣 / Kumagami Mai, Datzman Brien / Brien Datzman		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri, 隈上 麻衣 / Kumagami Mai, Datzman Brien / Brien Datzman		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (大橋)、mkumagami nagasaki-u.ac.jp (隈上)、 brien-datzman nagasaki-u.ac.jp (ダッツマン) (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	実施責任者 大橋絵理 環境科学部東棟1階		
担当教員TEL/Tel	(095)819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	各教員へメールにて連絡をし、アポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、まず年々増加している国際結婚を通して、それぞれの国の社会、宗教、政治、法律の相違を考察し、他者的な視点で自己の理解を相対化する。次に、日英の言語の共通点、相違点を比較検討しながら異文化の相互理解を深める。最後は、英語による講義となるが、文化という言葉の起源を探り、コミュニケーションや文脈という観点から共生思想を熟考することをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	アクティブラーニングを取り入れた授業方法を取り、以下の4点を到達目標とする。 1) 学生自身が、自主的に学習目標を立ち上げ探究する力をつけることができるようになる。 2) 適切な学習計画を実行し、仲間と議論、熟考すること通し多様性を理解する能力を身につけることができるようになる。 3) 学習成果を相互的に評価し、相互啓発志向を高めることができるようになる。 4) 以上の3点を通して相互の信頼、尊敬及び扶助、表現の自由、他者の意見の受容を獲得することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業態度(グループディスカッションでの積極的発言等) 30% プレゼンテーション 35% レポート 35%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として課題及び授業トピックについての下調べ2時間、事後学習として関連文献等のチェック2時間	
キーワード/Keywords	異文化理解、国際結婚、言語、文化、共生思想、	
教科書・教材・参考書/Materials	特定の教科書は採用しない。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	各人が 1)グループワークの討論に参加する 2)プレゼンテーションをする 3)レポートを書く 4)授業外学習に週平均2時間程度を充てること、参考資料をきちんと読むこと。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考（URL）/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	本授業は学生は、日本語・日本文化というものを外から捉えた見方にも触れ、自分の中にある文化というものを見直す契機となります。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	担当教員：大橋 国際結婚の相違について < 1 > 1) 国際結婚をテーマとし、アクティブラーニング型の授業を実施することを説明する 2) 「日本の結婚制度の成立」、「欧米のキリスト教社会の結婚」、「中東、アフリカのイスラム教社会の結婚」、「アジア各国の結婚（韓国、中国、東南アジア）」の歴史と現状についてバランスよく情報を提供する。	A
第2回	担当教員：大橋 テーマとゴールの設定 < 2 > 1) 国際結婚にかんする映画を見る。 2) それに基づいて各チームで国際結婚についてのテーマを考える（結婚、離婚、養育権、一夫多妻、宗教、恋愛など） 3) 各グループで具体的に何をテーマにすべきかを考え、役割分担、各自の仕事を確認する。	A B
第3回	担当教員：大橋 情報リサーチ < 3 > 1) インターネット、書籍、新聞、映画等から各自で集めた情報、あるいは外国人にインタビューした結果をグループで共有する。 2) 情報の取捨選択・分析し、討論する。	A B D
第4回	担当教員：大橋 発表準備 < 4 > 1) グループでパワーポイントあるいはロイロノートでスライド作成。	A B D
第5回	担当教員：大橋 プレゼンテーション < 5 > 1) 各グループで、プレゼンテーションをして質疑応答をする。 2) それらを学生相互で採点する。	A B D

第6回	<p>担当教員：隈上</p> <p>第二言語習得1「言語(習得)を科学する：英語習得の何が難しいのか？ &lt; 1 &gt;</p> <p>1) 第二言語習得研究概論：第二言語としての英語習得研究の目的と歴史を概観する。</p> <p>2) 長崎における英語習得：長崎における英語学習環境をもとに、日本人による英語習得に関して何が難しいのか、理想的な学習環境とはいかなるものかなどディスカッションする。</p>	A
第7回	<p>担当教員：隈上</p> <p>第二言語習得2「言語習得の問題を科学的に考える：日本語は習得が難しい言語なのか？ &lt; 2 &gt;</p> <p>1) 第二言語としての日本語習得：注目されている研究トピックなど具体例をあげて、日本語習得研究の目的や歴史を概観する。</p> <p>2) アメリカでの日本語教育に関して、大学での授業や日本人学校の取り組みがどのようなものであるか理解する。</p> <p>3) 長崎における日本語習得：長崎での日本語習得の機会（大学の授業、地域の日本語講座など）について調べ、海外（例：アメリカ）との違いを理解する。</p>	A B
第8回	<p>担当教員：隈上</p> <p>第二言語習得3「留学すれば外国語習得がうまくいくのか？ &lt; 3 &gt;</p> <p>1) 言語習得における様々な要因（年齢、学習環境、母語の特徴など）について提案されている言語習得仮説（例：臨界期仮説）について理解する。</p> <p>2) 授業内容をもとに理想的な言語学習環境についてディスカッションし、グループごとにまとめる。</p>	A B D
第9回	<p>担当教員：隈上</p> <p>第二言語習得4「多言語社会、多言語話者とは？：多言語で生活することのメリット・デメリット &lt; 4 &gt;</p> <p>1) バイリンガリズム：ニューヨークの子どもの例をもとに、一言語環境と多言語環境の違いを理解する。</p> <p>2) 長崎におけるバイリンガル環境：留学生の例など長崎における多言語環境をいくつか紹介し、多言語を使いこなすことの利点や異文化における言語能力の重要性についてディスカッションする。</p>	A B D
第10回	<p>担当教員：隈上</p> <p>第二言語習得5「多言語社会と社会（健康、環境）問題：健全な多言語社会とは？ &lt; 5 &gt;</p> <p>1) 多言語共生：これまでの授業で学んだ第二言語習得における問題（習得阻害要因）を整理し、日本における理想的な多言語環境のあり方についてディスカッションする。</p> <p>2) 多言語社会の課題：長崎において日常見受けられる異文化対応（他言語での表示、多言語対応のガイド等）をあらかじめ見付け、それらの効果や問題についてまとめ発表する。</p>	A B D
第11回	<p>担当教員：ダッツマン</p> <p>Defining Culture: What do we mean by culture? Why is understanding culture important? &lt; 1 &gt;</p> <p>1) An overview of the many definitions and interpretations of what we mean when we use the word culture.</p> <p>2) The importance of culture; the functions that it performs for both individuals and society.</p> <p>3) Developing an awareness of our own culture to understand other cultures.</p>	A

第13回	担当教員：ダッツマン The Origins of Culture: Where does culture come from? < 2 > 1 ) An overview of the origins of culture in the east and the west and how it relates to our modern world. 2 ) Culture and communication in the 21st century: case study of a young American teenager	A B
第12回	担当教員：ダッツマン The Three C 's 1: Culture, Communication, and Context < 3 > 1 ) Communicating across cultures 2 ) Politeness across cultures: evaluating performance and providing negative feedback	A B D
第14回	担当教員：ダッツマン The Three C 's 2: Culture, Communication, and Context < 4 > 1 ) Nonverbal communication across cultures 2 ) The intercultural classroom	A B D
第15回	担当教員：ダッツマン Defining Intercultural Competence: What is intercultural competence and how do we develop it? < 5 > 1 ) Developing a definition of intercultural competence 2 ) Developing methods for developing intercultural competence 3 ) Developing methods for dealing with cross-cultural misunderstandings	A B D

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594001901	科目番号 / Course code	05940019
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	音表現とグループ・プロセス[人文・社会科学科目] / Music and Group Process		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 治 / Nishida Osamu, 木部崎 幸子 / Kibesaki Sachiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 治 / Nishida Osamu, 木部崎 幸子 / Kibesaki Sachiko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館516室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	昼休み(事前にメールにてアポイントを取る)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本講義では、共に奏でることとそれによって人々がつながりあうことの意義について体験を通して考えることを主とする。実技も含むが、音楽の得意・不得意は一切問わない。音楽に苦手意識のある方の受講を歓迎する。いわゆるクラシック音楽は、講義内容に含まれないため注意すること。</p> <p>音楽を演奏する行為は、その原初は、遊びであると同時に、コミュニティ形成のための一つの手段だったはずである。音楽がプロ化することで、一部の人が奏で、その他大勢は聴き手にまわる文化状況が生まれ、それによって音楽の技術力は飛躍的に伸長するが、その一方で、多くの人々が音楽に音楽に参与する機会が社会の中で減少した。</p> <p>近代化した社会では減少してしまった「誰かと共に気楽に音楽を奏でる」という行為は、個人のウエルネスやコミュニティ形成にとって重要であることは今も変わらない。この点について、民族音楽学者、トマス・トゥリノ氏の理論的な枠組みを使って体験的に考察を深めていく。また、ウエルネスの実現のために音楽が果たす役割について体験をもとに考えるために、音楽と関連させたヨガの体験を行う。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>音および音楽の表現力・影響力について体験的に理解し、それについてことばで語ったり書いたりすることができる。</p> <p>自らの体験や考えを分かりやすく相手に伝えることができる。</p> <p>自らと音楽の関係、音楽を通じた他者とのかかわり、社会における音楽の役割について考えを述べるることができる。</p> <p>持続可能な開発について音楽を切り口として考えることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>レポート・提出物 70%</p> <p>出席・講義への参加度 30%</p> <p>授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格</p>		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	復習課題：講義内容の振り返り 2h 予習課題：課題文献の要約 2h
キーワード/Keywords	参与型音楽 ワークショップ ヨガ
教科書・教材・参考書/Materials	ヨガの体験の際に、床に敷くためのバスタオルが必要となるため持参すること。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	できるだけ欠席をせず講義に参加すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	木部崎 幸子/篠笛演奏家として音楽活動の実務経験を有している。/篠笛演奏家として音楽活動の実務経験を活かし、現代社会におけるアーティストという職業について、これまでの経験をもとに話をさせていただくことで、音楽と社会の関わりの一側面について明らかにする。また、もう一つは、グローバル化の中で、伝統音楽の今とこれからがどうなっていくのか、いくべきなのかについての授業を実施する。/ 西田 治/音楽ワークショップの開催経験を持つ。人と音楽のかかわりについて、ワークショップの実施経験を踏まえて講義を実施する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 音で遊ぶ
第2回	ヨガと音楽
第3回	グループでの即興演奏 1
第4回	ヨガのアート
第5回	グループでの即興演奏 2
第6回	体調を整えることと音楽
第7回	サウンドスケープ 1
第8回	マインドフルネス 1
第9回	サウンドスケープ 2
第10回	マインドフルネス 2
第11回	参与型音楽の概要
第12回	ミュージックメディスン
第13回	持続可能な音楽行為
第14回	音楽と呼吸
第15回	気づきを向けること

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594002101	科目番号 / Course code	05940021
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	環境問題の歴史から学ぶ[人文・社会科学科目] / The History of Environmental Problems		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白川 誠司 / Seiji Shirakawa, 五島 聖子 / Goto Seiko, 関 陽子 / Seki Yoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	白川 誠司 / Seiji Shirakawa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	白川 誠司 / Seiji Shirakawa, 五島 聖子 / Goto Seiko, 関 陽子 / Seki Yoko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	seijishirakawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部3F 環321 白川教員室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2734		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日17:00 ~ 18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	現在存在する環境問題の解決策を考える上で、過去の環境問題とその解決法や取り組みについて知ることは重要である。本講義では、様々な視点で過去および現在の環境問題について知ることで、環境問題について深く考える。また、講義で得た新たな知識を参考に、自分自身の環境問題に対する姿勢を深く考えていく。		
授業到達目標 / Course goals	日本や海外の環境問題のいくつかの事例に歴史について説明できる。環境問題に対する自身の姿勢および意見を他者に述べることができる。他者の環境問題に対する姿勢および意見に対する議論を行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各講義ごとのレポートによる評価(50%)、授業への貢献度(50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	復習：講義内容の復習 (1コマ毎 4 h)		
キーワード / Keywords	環境問題、公害、社会システム		
教科書・教材・参考書 / Materials	必要に応じて資料を配布		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	環境問題に関心を持っている。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	環境問題について再度じっくり学び、考え直すことで、今後の環境問題に対する意識を高めて欲しい。		



実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 : 6/16, 3限	白川担当 講義の概要
第2回 : 6/16, 4限	白川担当 公害問題 1
第3回 : 6/23, 3限	白川担当 公害問題 2
第4回 : 6/23, 4限	白川担当 公害と化学
第5回 : 6/30, 3限	白川担当 公害問題について考える
第6回 : 6/30, 4限	五島担当 都市緑地について
第7回 : 7/7, 3限	五島担当 ヨーロッパの産業革命と公害問題 (イギリス)
第8回 : 7/7, 4限	五島担当 ヨーロッパの産業革命と公害問題 (フランス)
第9回 : 7/14, 3限	五島担当 日本の自然観について
第10回 : 7/14, 4限	五島担当 明治以降の日本の都市緑地について
第11回 : 7/21, 3限	関担当 環境思想史 (人間中心主義はどこからきたか)
第12回 : 7/21, 4限	関担当 環境思想史 (自然中心主義)
第13回 : 7/28, 3限	関担当 環境思想史 (環境倫理と環境運動)
第14回 : 7/28, 4限	関担当 動物倫理から考える
第15回 : 8/4, 3限	関担当 価値の対立について

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594002301	科目番号 / Course code	05940023
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	教育と社会[人文・社会科学科目] / Education and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	丸山 真純 / Maruyama Masazumi		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masazumi「アット」nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	経済学部本館6階		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	木 12:00 - 14:30		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>教育社会学概論として、教育と社会の関わりについて考える。現代においては、教育とは学校やその制度と分かちがたく結び付けられているといえる。そして、私たちは学校や学校制度、学校という空間を自明のものと考えているところがある。しかし、そもそも学校とはなんだろうか?こう問われると、答えに窮するのではないかと本授業では、この自明視される学校(あるいは学校にまつわる常識)について、教育社会学の視点を中心として、考えてみたい。教育という営みや教育と社会の関わりなどを考える契機としてもらいたい。</p> <p>最後には、教育を考える資料をもとに、ディスカッションやプレゼンテーションを通じて、教育をめぐる現在の課題を受講生全員で考えてみたい。</p> <p>なお、本授業はオンラインリアルタイム授業を予定している。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>教育という営み、学校制度、学校の現在の問題などについて、比較教育、教育社会学の基礎を理解できるようになる</p> <p>教育と社会の関わりを批判的に考察できるようになる</p> <p>教育の現在の課題について理解でき、解決の方策を考えることができるようになる</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>受講生の授業でのBreakout参加・貢献(発表・発言など) 20%</p> <p>グループワークと発表 20%</p> <p>予習シート 30%</p> <p>まとめとふりかえりシート(授業中・後課題) 30%</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>事前学習: 予習課題あるいは授業外グループワーク 2h</p> <p>事後学習: 授業ふりかえりシート提出、または授業で扱った内容に関わる文献や授業中に紹介した文献の講読 2h</p>		
キーワード / Keywords	近代社会 近代学校制度 学校の学び 隠れたカリキュラム 教育と階層・格差社会 教育の現在の課題		

教科書・教材・参考書/Materials	<p>教科書 荻谷剛彦 『学校って何だろう? : 教育の社会学入門』 筑摩書房          参考書 柳治男 『&lt;学級&gt;の歴史学』 講談社          桜井哲夫 『「近代」の意味』 NHK出版など          内田樹 『下流志向』 講談社          小野田正利 『悲鳴をあげる学校』 旬報社          小野田正利 『親はモンスターじゃない』 学事出版          荻谷剛彦・増田ユリヤ 『欲張り過ぎるニッポンの教育』 講談社          荻谷剛彦 『学力と階層』 朝日新聞社          稲垣佳世子・波多野諠余夫 『人はいかに学ぶか』 中央公論社          福田誠治 『競争やめたら学力世界一：フィンランド教育の成功』 朝日新聞社          ゲイル・ベンジャミン 『ニッポンの学校ってどんなところ?』 白揚社          (参考書については、図書館に複数冊用意されるので、受講生が購入する必要はない)          その他の参考書等は適宜紹介する。</p>
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先          (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	概要紹介(内容紹介)
第2回	教育=学校を考える視角 : 学校が輝いたとき・近代と学校
第3回	教育=学校を考える視角 : 学校が輝いたとき・近代と学校 cont.
第4回	教育=学校を考える視角 : 学校的学びとは 比較教育の視点
第5回	どうして勉強するの?
第6回	試験の秘密
第7回	校則はなぜあるの?
第8回	教科書って何だろう
第9回	隠れたカリキュラム
第10回	先生の世界
第11回	生徒の世界
第12回	学校と社会のつながり *扱う教材の関係で、この回を第15回にする可能性もある
第13回	教育の現在的課題
第14回	教育の現在的課題
第15回	教育の現在的課題 と総括

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594002501	科目番号 / Course code	05940025
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	近世の長崎における外国人の日本語研究[人文・社会科学科目] / Studies of the Japanese Language by Foreigners in Early Modern Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	TOET RUDY		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	TOET RUDY		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	TOET RUDY		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	rudytoet nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5階ライティングセンター・留学相談室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の直後またはメールにて質問を受け付ける。メールによりアポイントメントを取ることもできる。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この科目では、近世の長崎における外国人、とりわけポルトガル人宣教師と平戸・出島オランダ商館員の日本語学習・研究を扱う。インターネットで電子化・一般公開されている彼らの辞書や文典を紹介する。その中で記述されている日本語はどのようなものかについて考察し、それに基づいて、言語変化および長崎方言についても考える。また、オランダ商館日記等の史料に基づいて、この人たちがどのような状況で長崎に滞在し、日本語を学習・研究したのかについても考察する。狙いは、いわゆる「鎖国時代」でもヨーロッパ人が来航し続けた長崎はどのような「言語環境」であったのかについて理解することである。		
授業到達目標/Course goals	1. 近世の長崎における外国人の滞在状況および日本語学習・研究事情を理解し、説明できるようになる((1)(7))。 2. 古い日本語研究資料に基づいて言語変化および長崎方言について論じることができるようになる((1)(7))。 3. 近世の日本に関係する海外史料にどのようなものがあるかについて理解し、一部利用できるようになる((1)(2)(3))。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み 30点 提出物(小レポート)の平均点数 30点 期末レポート 40点 合計100点の内60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】 毎回指定される資料を予め読んでおくこと。(1コマ当たり2時間) 【復習】 振り返りシートを記入し、数回提出を求める小レポートを執筆すること。(1コマ当たり2時間)		

キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。授業で適宜に資料を配布する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1～2回	オリエンテーションに加えて、近世の長崎で日本語を学習・研究した外国人はいつ、どこから、何をしに来た人であったかについて、いわゆる「鎖国」の歴史を追って概説する。
第3～4回	16世紀末～17世紀初頭： ポルトガル人宣教師の日本語学習・研究を扱う。『日葡辞書』やロドリゲスの『日本大文典』を紹介する。
第5～6回	17世紀初頭～18世紀末（その一）： ケンペルの日本語研究（17世紀末）を除き、17世紀初頭～18世紀末の間、なぜ平戸・出島オランダ商館員の日本語研究資料が残っていないかについて考える。「商館員の日本語学習の禁止」について考察する。
第7～8回	17世紀初頭～18世紀末（その二）： ケンペルの日本語研究（17世紀末）とトゥーンベリの日本語研究（18世紀末）を紹介する。
第9～10回	19世紀前半（その一）： 蘭和辞典『ドッフ・ハルマ』（『長崎ハルマ』とも）およびその成立やオランダへの「密輸出」について考察する。
第11～12回	19世紀前半（その二）： シーボルトの日本語研究を紹介する。
第13～14回	19世紀半ば： クルチウス編ホフマン増訂『日本文法試論』およびその成立の背景と経緯について考察する。
第15回	第14回まで扱った内容をまとめ、取り上げることができなかったことに触れる。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594002901	科目番号 / Course code	05940029
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	芸術の世界[人文・社会科学科目] / The World of Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	三上 次郎 / Mikami Jirou		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mikami_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部音楽棟3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2344		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 3限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	音楽基礎理論を通して、楽譜の仕組みを理解し教養の拡充に努める。		
授業到達目標/Course goals	1、音楽理論の問題、いわゆる楽典の比較的難易度の低い問題を解くことができるようになる。 2、調性などの理解を深め、読譜力を高める。 3、コードネームを学習することで、その仕組みが理解できるようになる。 (分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	LACSに1500点分の問題を用意し、各講義において授業をした後問題を解く。この点数の積み重ねによって60%以上を段階的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習：授業資料にてあらかじめ学習しておく。(2H) 復習：復習課題をLACSのテストを行う。(2H)		
キーワード/Keywords	音楽理論、楽典		
教科書・教材・参考書/Materials	楽典 理論と実習 石桁真礼生他著 音楽之友社 音楽痛論 教育芸術社 わかりやすい楽典 川辺 真著 音楽之友社		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL)/Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	三上 次郎/作曲家として30年間にわたり作品を提供している/作曲法の中で歌曲の作曲や、編曲の実践を行う。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーションと音名 ドイツ語と日本語による音名を学習する。
第2回	音名と音符について ドイツ語と日本語による音名と音符の符割などを学習する。 リズムの基本構造を理解する。
第3回	音符と楽譜の読み方 変化記号の読み方の基本を中心に音名を抱き合わせで学習する。
第4回	音程について 音程の初歩について学習する。 数字音程のみならず、長・短などの音程幅について学習する。
第5回	音程について(2) 少し幅の広い音程を学習する。
第6回	音程について(3) 減、増を含む複雑な音程を学習する。
第7回	長音階と調について 長音階の構造と長調について学習する。
第8回	音階音の名称と音階固有音について 音階固有音は環境音であることを理解し、音階音の名称(主音、属音など)を学習する。
第9回	短音階と短調 3つの短音階の種類を学習し、短調について学習する。
第10回	調関係と調の判定 関係調について学習し、調号を使わない簡単な音列の調性を判定する方法を学習する。
第11回	三和音について 4種類の三和音の構造を学習する。
第12回	各調と?T??Zの三和音について 和音につくローマ数字について学習し、?T度の和音などの識別を学習する。
第13回	七の和音 七の和音についてその構造を学習する。 転回形を学習する。
第14回	コードネームについて 主にジャズやポピュラー音楽において使用されるコードネームの基本原則を学習する。
第15回	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594003101	科目番号 / Course code	05940031
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	国際比較刑事法入門 グローバル化する犯罪と刑事手続[人文・社会科学科目] / Introduction to International Comparative Criminal Law : Globalization of Crimes and Criminal Procedure		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	河村 有教		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	河村 有教		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	河村 有教		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部対象		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawamura_nagasaki-u.ac.jp ( @ )		
担当教員研究室/Office	総合研究棟(多文化社会学研究科・多文化社会学部)11階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2953(研究室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日(事前に連絡してアポイントを取ってください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本授業は、社会科学(刑事法学)の基礎知識を提供するものである。本授業においては、グローバル化する犯罪と刑事手続について学習する。各国によってどのような行為が犯罪となるのかは異なる。また、犯罪に対する刑罰についても同様に異なる。日本の刑法では死刑が刑罰の一つに規定されているが、死刑をめぐる「人権」との関係で国際社会による批判もある。どのような人権が保障されているのか、人権の保障も各国の国内法の内容は様々である。犯罪がグローバル化する中で、各国の間では刑事司法共助に関する条約の締結が進められているが、刑事司法共助をめぐる課題も多い。本授業では、日本の刑事法を中心に学習するが、「香港における人身の自由」やカルロス・ゴーン国外逃亡の問題等も含め、「外」の視点(グローバルな視点)を重視しながら、諸外国との比較をしたり日本の問題を検証したりすることをねらいとする。また、医学部や工学部等の理系の学生をも対象とすることから、医療過失、死因究明やAI(自動運転)化による自動車事故の過失責任の問題についても授業の中で取り上げたい。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>既存の制度を批判的に論じ、よりよい制度となるように、未来社会を構想し得る力を涵養する。法学の多元的なアプローチ(分析手法)を学習した上で、それを用いて、さらには、グローバルな視点とローカルな視点から、日本国内および国際社会で生じている様々な人権問題の解決に向けて提言する基礎的能力を身につける。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over  B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives  C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills  D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems  E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above  F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>期末試験を実施する(60%)。授業への出席及びコメントシートの提出(40%)。オンライン授業になった場合には、レポート等の課題を課し、レポートの提出を求めることもある。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>		



事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業内で教科書等を読むことはしないため、教科書については、主に事前の予習、事後の復習の教材に役立ててください。授業のテーマに関わりそうな図書や雑誌、新聞記事等の資料を読み、「グローバル化する犯罪と刑事手続」について考えること。(予習2時間・復習2時間)
キーワード/Keywords	グローバル化, 刑法, 刑事訴訟法, 犯罪, 刑罰, 刑事手続, 刑事司法共助, 医療過失, AI
教科書・教材・参考書/Materials	教科書等については、初回の授業で教科書・参考書等の説明を確認したうえで購入してください。試験で六法の持ち込みを可としています。不正行為防止の点から試験では、PCやi phone等を利用した六法検索は認められません。『デイリー六法』(三省堂)の購入をお勧めしています(『ポケット六法』(有斐閣)も可です)。法律改正や新しく立法される法律があるので、六法については最新版を購入のこと。 【教科書】河村有教『入門刑事訴訟法【第2版】』(晃洋書房, 2021年)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp"
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	法学、法律学に関心のある理系の学生を歓迎します。法律の条文を一つ一つ読んで確認しながら、楽しく学習しましょう!
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	犯罪と刑罰 どのような行為が犯罪となるのか(罪刑法定主義)? 国によって犯罪と刑罰は異なる!
第2回	刑事上の医療過失について考える(1) 過失犯
第3回	刑罰 死刑について考える
第4回	日本国憲法上の人身の自由の保障(被疑者・被告人の権利)と刑事手続
第5回	香港における人身の自由について考える
第6回	日本の刑事手続を知る(1) 刑事手続のしくみ
第7回	日本の刑事手続を知る(2) 犯罪の予防と犯罪の捜査
第8回	日本の刑事手続を知る(3) 捜査の執行と捜査の統制
第9回	死因究明における調査と捜査の課題 法医学への期待
第10回	日本の刑事手続を知る(4) 強制的な身柄確保と拘束
第11回	日本の刑事手続を知る(5) 公訴の提起と不起訴濫用の防止
第12回	グローバル化する犯罪と刑事手続
第13回	刑事上の医療過失について考える(2) 刑事手続と事故調査手続
第14回	子どもの安全とCDR 法学と医学との架橋
第15回	AI(自動運転)化に伴う法律上の課題 法学と工学の架橋
第16回	期末試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594003301	科目番号 / Course code	05940033
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	市民社会と法[人文・社会科学科目] / Civil Society and Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 選択科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>家族、相続、ジェンダー、消費者、不動産、事故。社会の一員として生きるうえで誰もが関わりうるような身近な六つの分野について、法がどのように規律しており、実際の争いにおいて裁判所がどのように判断したのかなどを学ぶ。また、将来みなさんが市民として関わるかもしれない裁判員制度についても理解を深める。</p> <p>この授業は5・6校時に連続で行うから、基本的にその連続した二校時分で一つのテーマを扱う。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>基礎的な法の概念が理解できるようになる。</p> <p>法的な思考力を身につけて社会でのトラブルに対処できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt;/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt;/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt;/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt;/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt;/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt;/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み50点と定期試験50点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 各回のテーマについて予めネットで情報収集し、自分の考えをまとめておくこと。(2h) 復習 配布資料を再読し、理解を確実にするように努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	法学入門、民法、裁判員		
教科書・教材・参考書/Materials	プリントを配布し、参考文献は別途紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	家族と法 1 婚姻、離婚、親子、養子など社会の最小単位ともいえる家族における法を学ぶ。
第 2 回	家族と法 2
第 3 回	相続と法 1 親が死亡した場合に残された遺産を家族でどのように分けるのか、家族財産の処遇について学ぶ。
第 4 回	相続と法 2
第 5 回	ジェンダーと法 1 生物学的性別とは異なる社会的性別をジェンダーという。家族や企業、政治など様々な社会でのジェンダーバランスについて、法はどのような役割を果たしているのかについて学ぶ。
第 6 回	ジェンダーと法 2
第 7 回	裁判員制度 1 アメリカの陪審制度を扱った映画『十二人の怒れる男』を題材に、市民が刑事裁判に参加することの意義を考え、日本の裁判員制度についての理解を深める。
第 8 回	裁判員制度 2
第 9 回	消費者と法 1 私たちは誰もが消費者である。圧倒的に多くの情報をもつ企業と情報力に乏しい消費者との争いをどのように解決するのかについて学ぶ。
第 10 回	消費者と法 2
第 11 回	不動産と法 1 不動産とは土地と建物のことである。一人暮らしをしている学生は家主とマンションの賃貸借契約を結んでいるだろうし、将来的にはローンを組んで家を買うかもしれない。そのような不動産取引と法について学ぶ。
第 12 回	不動産と法 2
第 13 回	事故と法 1 他人の持ち物をうっかり壊した場合にしばしば弁償という言葉を目にする。同様に、自動車の運転免許証を取得する際には交通事故の際の損害賠償について習うだろう。これら事故を解決する法について学ぶ。
第 14 回	総復習 翌週の定期試験のために全員参加型の総復習をする。
第 15 回	事故と法 2
第 16 回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/11/25 ~ 2022/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594003501	科目番号 / Course code	05940035
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	社会と教育[人文・社会科学科目] / Education in Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	酒井 友文		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	酒井 友文		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	酒井 友文		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tomohumi nagasaki-ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部5階527号室(酒井)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2903		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メール対応(随時)tomohumi@nagasaki-ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学力、いじめ等支援を要する児童への対応、防災教育等、現在日本の教育が抱えている課題について理解するとともに、グローバル化、超少子高齢化等、急激に変化する社会の中で求められる教育の在り方や自身が身に付けるべき資質・能力等について考える。		
授業到達目標/Course goals	教育課題及び教育現場の現状・取組みについて理解する。 職業人、社会人、家庭を築く人として教育にどのように向き合えばよいかを理解する。 教育に対し自分の意見を持ち、自ら学びに向かう力を高めるための実践ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート・課題(50点)+協議等への参画・態度(10点)+試験(40点)=100点のうち、60点以上を合格とする。なお欠席した回数が3回を上回る場合は失格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	次時のテーマに関連した課題を提示し事前学習の成果を提出させる。		
キーワード/Keywords	求められる学力 家庭・地域社会・学校の連携 危機管理(子どもの心と命)		
教科書・教材・参考書/Materials	学習指導要領、教育委員会等行政機関が発行している資料、新聞・インターネット等で取りあげられている記事及び配布資料等		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	やがて改めて教育と向き合う時がきます。教育を通して見える社会、社会の変化を通して見える教育の姿を協議を通して深めたいと考えています。次代を生きる社会人として、職業人として、家庭を築く人として求められる資質・能力について考える機会にしましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	酒井友文/小学校教員の経験あり。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回12月1日(水)	教育の現状・課題 1	A B
第2回12月1日(水)	教育の現状・課題 2	A B C
第3回12月8日(水)	求められる学力 1	A B C
第4回12月8日(水)	求められる学力 2	A B C
第5回12月15日(水)	学校における危機管理 1	A B C
第6回12月15日(水)	学校における危機管理 2	A B
第7回1月5日(水)	支援を要する児童生徒 1	A B C
第8回1月5日(水)	支援を要する児童生徒 2	A B
第9回1月12日(水)	家庭・地域の教育力 1	A B
第10回1月12日(水)	家庭・地域の教育力 2	A B
第11回1月19日(水)	ふるさと教育とグローバル社会 1	A B C
第12回1月19日(水)	ふるさと教育とグローバル社会 2	A B
第13回1月26日(水)	教育を通して見える未来 1	A B C
第14回1月26日(水)	教育を通して見える未来 2	A B C
第15回2月2日(水)	社会と教育まとめ(教育の不易と流行)	A B D
第16回2月2日(水)	テスト(小論 2題予定)	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594003701	科目番号 / Course code	05940037
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	人間と社会[人文・社会科学科目] / Human and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	永田 聖二 / Nagata Seiji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	永田 聖二 / Nagata Seiji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	永田 聖二 / Nagata Seiji		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	seiji nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する ①に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部 本館 6階 612研究室		
担当教員TEL / Tel	819-2310		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜 限		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	古典派経済学からケインズ経済学まで、さまざまな経済学説の変遷をたどることによって、資本主義経済の機構を理論的に解明する。		
授業到達目標 / Course goals	古典派経済学、マルクス経済学、近代経済学など、さまざまな経済学説の資本主義経済観を把握したうえで、資本主義経済の機構を理論的に説明できる。(10基盤的知識、B社会科学の内容を取り扱う)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末試験100% 100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 配布資料の該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。(2h) 復習 ノート整理をつうじて内容の理解を深めること。(2h)		
キーワード / Keywords	スミス、リカードウ、マルクス、スラッファ、ケインズ、レオンティエフ		
教科書・教材・参考書 / Materials	稲田献一『経済数学の手ほどき』日本経済新聞社(日経文庫) チャン、ウェインライト『現代経済学の数学基礎(上・下)』CAP出版		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ベクトルや行列など、線形代数の初歩的な知識があれば、理解の助けになる。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	経済学の課題と対象
第2回	流通過程と重商主義思想
第3回	アダム・スミスと国富
第4回	アダム・スミスと生産過程
第5回	リカードウと労働価値説
第6回	リカードウと賃金論
第7回	リカードウと地代論
第8回	経済数学の基礎1: 微分法
第9回	経済数学の基礎2: 最適化問題
第10回	経済数学の基礎3: 偏微分と全微分
第11回	ミクロ経済学: 消費者行動の理論
第12回	マクロ経済学: 所得水準の決定と乗数効果
第13回	経済数学の基礎4: ベクトルと行列
第14回	経済数学の基礎5: 連立方程式と逆行列
第15回	産業連関分析
第16回	期末試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/06/10 ~ 2021/08/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594003901	科目番号 / Course code	05940039
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	世界のことばの多様性[人文・社会科学科目] / The World's Linguistic Diversity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	TOET RUDY		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	TOET RUDY		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	TOET RUDY		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	rudytoet nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5階ライティングセンター・留学相談室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の直後またはメールにて質問を受け付ける。メールによりアポイントメントを取ることもできる。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	音声学・音韻論(発音)、形態論・統語論(文法)等の各観点から、世界の各言語に見られる様々な表現の仕方について考察する。日本語や英語の比較的身近な言語から聞いたことすらない言語まで幅広く見ていき、ヒトを特徴づける「ことば」というものの多様性に驚きながら、その表面の下にある人間の普遍性を示唆する側面も探る。また、他言語に見られる特徴が、日本共通語・標準語には見られないが、長崎方言(九州方言)には見られるなどのようなケースを通じて、世界のことばの多様性のみならず日本のことばの多様性についても理解を深め、地元のことばを考える機会ともする。学生の英語などの外国語学習に対する刺激になることも狙いの一つである。		
授業到達目標/Course goals	1. 世界の各言語のどの側面がどのように異なり得るか、そしてどのような普遍的な側面があるかを理解し、説明できるようになる((1)(7)(10))。 2. 自分の使うことば・地元のことばの特徴を把握し、世界のことばの多様性の中に位置づけることができるようになる((1)(7)(10))。 3. 英語などの外国語学習において取り組むべき要素を新たに見付け、その方法を考えることができるようになる((1)(2)(9))。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 授業で得た知識を活用して、外国語学習において取り組むべき要素を主体的に確認する活動 F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み 30点 内容理解確認小テスト(平均点数) 20点 提出課題(平均点数) 20点 定期試験 30点 合計100点の内60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		



事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】毎回指定される資料を予め読んでおくこと。(1コマ当たり2時間) 【復習】授業の内容に対する学生の理解を確認するために定期的に実施する小テストのための復習と、数回提出を求める異なる言語のある特徴を比較する小レポートの執筆。(1コマ当たり2時間)
キーワード/Keywords	世界の各言語の音声学・音韻論・形態論・統語論、長崎県・九州地方の方言
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。授業で適宜に資料を配布する。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1~2回	オリエンテーションに加えて世界の各言語について概説する。
第3~4回	音声学の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第5~6回	音韻論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第7~8回	形態論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第9~10回	統語論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第11~12回	「言語行為」(speech acts)の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第13~14回	時制(テンス)と相(アスペクト)の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第15回	第14回まで扱った内容をまとめる。
第16回	定期試験を実施する。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594004101	科目番号 / Course code	05940041
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	租税と社会[人文・社会科学科目] / Tax and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山内 伸隆 / yamauchi nobutaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山内 伸隆 / yamauchi nobutaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山内 伸隆 / yamauchi nobutaka		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	経済学部は除く		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nobutaka.yamauchi@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Office	経済学部キャンパス(片淵キャンパス)の本館(学務係が1階にある棟)6階602号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6331		
担当教員オフィスアワー/Office hours	いつでもどうぞ(オンラインでも可能です)。ただし、メールでのやりとり以外については、事前 に日程調整メールをください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	租税の概略について、社会との関わりに触れつつ解説する。このことを通じて、租税の社会におけ る役割などを理解する。なお、授業は原則として対面で実施。		
授業到達目標/Course goals	租税の仕組みなどについて把握するとともに、租税の社会における役割などを理解した上で、今後 の租税のあり方などについて自ら考えられるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポートによる評価。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	初回の授業で案内します。		
キーワード/Keywords	租税、税、税金、マイナンバー		
教科書・教材・参考書/Materials	不要にする代わりに、授業にはPCを持参してください。法令検索やグループワークに多々使用しま す。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特にありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)	能動的に租税に対する理解を深められるよう、グループワークを多く取り入れます。		
学生へのメッセージ/Message for students	初回の授業で示します。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	山内 伸隆 / 税務行政に携わった経験 / 税務、マイナンバー制度、IT戦略の立案、システム開発などの自身の経験を活かし、授業を進めます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	租税と社会について
第3回	租税と社会について
第4回	租税と社会について
第5回	租税と社会について
第6回	租税と社会について
第7回	租税と社会について
第8回	租税と社会について
第9回	租税と社会について
第10回	租税と社会について
第11回	租税と社会について
第12回	租税と社会について
第13回	租税と社会について
第14回	租税と社会について
第15回	租税と社会について
第16回	租税と社会について

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594004301	科目番号 / Course code	05940043
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	地域経済とソーシャルビジネス[人文・社会科学科目] / Regional Economy and Social Business		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	junya-y nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所2F		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールにて質問を受け付ける。 junya-y@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	地域経済とソーシャルビジネスの定義、現状や課題を踏まえて、SDGs、ESG、エシカルやプラネタリーヘルスなどの視点から、個人や組織の社会性と地域経済の持続可能性との関係について学びます。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域社会における多様性の重要性について説明できる。</li> <li>2. 地域社会において社会性と経済性を両立することの重要性や方法について説明できる。</li> <li>3. 1と2を踏まえて、地域社会の持続可能性について他者と協働して検討できる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション課題50点 + レポート課題50点 = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習：次回講義で採り上げる事例等について、新聞、TVやインターネットから情報を収集・整理する(2h)。 復習：講義で配布された資料を再読し、理解を確実なものとする(2h)。		
キーワード/Keywords	地域経済、ソーシャルビジネス、SDGs、ESG、エシカル消費、持続可能性		
教科書・教材・参考書/Materials	担当教員作成の資料をLACSにて配布・使用するため教科書等は指定しない。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks ( URL )	
学生へのメッセージ/Message for students	地域経済やソーシャルビジネスの現状や課題についてアンテナを高く張って自ら情報を収集することを心がけてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか ( Y / N ) / Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 ( 実務経験のある教員による授業科目のみ使用 ) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 ( 日時 ) / Time ( date and time )	授業内容 / Contents
第1回4月14日 ( 水 ) 3校時	講義ガイダンス
第2回4月14日 ( 水 ) 4校時	地域経済の基礎理論 1
第3回4月21日 ( 水 ) 3校時	地域経済の基礎理論 2
第4回4月21日 ( 水 ) 4校時	地域経済の現状 1 : 長崎県を例に
第5回4月28日 ( 水 ) 3校時	地域経済の現状 2 : 長崎県を例に
第6回4月28日 ( 水 ) 4校時	ソーシャルビジネスの概論
第7回5月12日 ( 水 ) 3校時	ソーシャルビジネスの事例
第8回5月12日 ( 水 ) 4校時	ソーシャルビジネスの課題
第9回5月19日 ( 水 ) 3校時	グループワーク 1 : 地域課題の発見
第10回5月19日 ( 水 ) 4校時	グループワーク 2 : 地域課題の整理
第11回5月26日 ( 水 ) 3校時	グループワーク 3 : 地域課題の解決にかかるアイデア
第12回5月26日 ( 水 ) 4校時	グループワーク 4 : 地域課題の解決にかかる活動計画
第13回6月2日 ( 水 ) 3校時	プレゼンテーション 1
第14回6月2日 ( 水 ) 4校時	プレゼンテーション 2
第15回6月9日 ( 水 ) 3校時	講義のまとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594004501	科目番号 / Course code	05940045
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	都市環境を考える[人文・社会科学科目] / Introduction to Urban Environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi, 片山 健介 / Kensuke Katayama		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	渡辺 貴史 / Watanabe Takashi, 片山 健介 / Kensuke Katayama		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	twatanab nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部4F 430		
担当教員TEL / Tel	095-819-2718		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日 13:00-14:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>授業の概要：第1回目は、本講義の概要、本講義の全体を通じて基礎となる知識を説明する。以降は、担当教員の専門分野にもとづき、景観(2,3,4,5回目)、緑地(6,7回)、市街地とまちづくり(8,11,13回)、交通(9,10回)、観光(12回)、広域計画(14,15回)に関わる講義が行われる予定である。</p> <p>授業の位置づけ：本科目は、長崎市の都市環境を素材とした講義を通じて、多くの人が居住する都本講義の主要な目標は、各講義を通じて、(1)長崎の都市環境をめぐる歴史と現状を理解する、(2)都市環境とは多面的な側面から構成されていることを理解する、(3)都市環境の維持・発展に向けては様々な考えなければいけないことがあることを理解することです。</p>		
授業到達目標 / Course goals			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験：70%、修学状況：30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	予習：授業内容に記載された内容に係る情報を新聞・テレビ・インターネットなどにより調べること。(2h) 復習：レジュメを再読みし、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード / Keywords	都市環境、景観、緑地、里山、斜面市街地、交通、観光、まちづくり、国土・地方計画		
教科書・教材・参考書 / Materials	教材：ハンドアウトを配付する予定です。 参考書：講義時に各教員が指示する予定です。本講義に大きく関係する参考書としては、以下があります。 谷村賢治・杉山和一・渡辺貴史(2012)：もう一つの長崎さるく 豊かな景観と育んだ歴史的個性・晃洋書房		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	新聞・テレビ・インターネットなどを通じて長崎の都市環境をめぐる情報を知ることは,本講義の内容を理解する上でとても有用です。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	導入:講義の概要,計画とは何か(渡辺)
第2回	都市環境とは何か,長崎市の概要(渡辺)
第3回	景観の基礎知識(渡辺)
第4回	長崎市の景観の特徴(渡辺)
第5回	長崎市の個性を活かした景観の形成に向けて(渡辺)
第6回	都市環境の形成に果たす緑地の役割(渡辺)
第7回	長崎市の緑地の特徴(渡辺)
第8回	長崎の住宅地の現状と課題(渡辺)
第9回	長崎県における地域公共交通の現状(片山)
第10回	斜面市街地の交通システム(片山)
第11回	長崎市の中心市街地とまちづくり(片山)
第12回	長崎の観光を考える(片山)
第13回	都市環境の形成と都市計画(片山)
第14回	広域計画にみる長崎(片山)
第15回	長崎の活性化と広域連携(片山)
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2021/11/24		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594004901	科目番号 / Course code	05940049
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	被ばくと社会[人文・社会科学科目] / Exposed to Radiation and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro, 奥野 正太郎 / Okuno Shotaro, 桐谷 多恵子 / Taeko Kiriya, 山口 響		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 達治郎 / Suzuki Tatsujiro, 奥野 正太郎 / Okuno Shotaro, 桐谷 多恵子 / Taeko Kiriya, 山口 響		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzukitatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	核兵器廃絶研究センター (RECNA) 鈴木教授室		
担当教員TEL/Tel	鈴木達治郎 (095-819-2947)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火、木、午後4:00~6:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview			
授業到達目標/Course goals			
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席 30点、各テーマのレポート 15点×3=45点、最終レポート 25点 合計100点満点		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は特になし。毎回講義後に感想シートとキーワードを提出。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y		



実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	米澤 紀子/株式会社テレビ長崎 報道部の実務経験を有している。/株式会社テレビ長崎 (報道部) の実務経験を活かし、韓国人被爆者に焦点を当てたテレビ報道や、緻密な取材に基づき、被爆問題の広がりや次世代への継承に関する授業を実施する。/ 奥野 正太郎/原爆資料館学芸員として被爆地長崎の資料保存を行っている実務経験を有している。/長崎原爆資料館初代学芸員として原爆に向き合った来た実務経験を活かし、学芸員の仕事を通しての研究成果を学生たちに教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (鈴木達治郎) 講義概要の説明、自己紹介
第2回	第2回 報道に見える被ばくと社会 橋場紀子
第3回	第3回 報道に見える被ばくと社会 (1) 橋場紀子
第4回	第4回 報道に見える被ばくと社会 (2) 橋場紀子
第5回	第5回 報道に関するまとめの議論 (学生のグループワーク) 鈴木達治郎
第6回	第6回 平和教育について (1) 山口 響
第7回	第7回 平和教育について (2) 山口 響
第8回	第8回 平和教育について (3) 山口 響
第9回	第9回 平和教育についてのまとめの議論 (学生のグループワーク) 鈴木達治郎
第10回	第10回 長崎の復興について 桐谷多恵子
第11回	第11回 原爆と歴史 (1) 奥野正太郎
第12回	第12回 原爆と歴史 (2) 奥野正太郎
第13回	第13回 歴史に関するまとめ (学生のグループワーク) 鈴木達治郎
第14回	全体のまとめの議論 (学生のグループワーク) 鈴木達治郎
第15回	学生の発表 鈴木達治郎

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594005101	科目番号 / Course code	05940051
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	文字と社会[人文・社会科学科目] / Written Characters and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko, 中村 文子 / Fumiko Nakamura		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 慶子 / Suzuki Keiko, 中村 文子 / Fumiko Nakamura		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	keiko-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部514研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2302		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水 5		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	日本語表現のうち、文字言語によるものの特徴を多角的に吟味し、言語力を深める。		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自分自身の「文字と社会」力を客観的に認識することができる。</li> <li>2) 日常文書の特徴を理解し、実際に書くことができる。</li> <li>3) 文字言語による日本語表現の特徴を俯瞰することができる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	5回の欠席で失格。10回以上出席の場合に、下記で評価する。60点以上で合格とする。 プレゼンテーション、質疑応答 [ 10% ] OB訪問報告書 [ 30% ] 第2單元に関する提出物 [ 30% ] 試験 [ 30% ]		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	図書館での調査、グループでの協議、個人レポートなど、事前事後(各2h)の学習の成果を紙媒体で提出することとします。量ではなく、質を求めます。		
キーワード / Keywords	日常生活、文字言語、コミュニケーション		
教科書・教材・参考書 / Materials	『美しい日本語表現』池田悠子著 双文社 『書字のススメ』石川九揚著 新潮社 『わかりあえないことから』平田オリザ著 講談社現代新書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	個人で行うこととグループで行うことの両方ができること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	書くことは、訓練なしでは獲得できません。 意志を以て、書く力を獲得しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木慶子/高等学校国語科教員
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(4/14)	オリエンテーション、受講基礎調査
第2回(4/14)	自己紹介のための自己分析、 「興味のあることの変遷表」を作る
第3回(4/21)	面接では、人間のここを観る 原田岳氏[株式会社富建 代表取締役社長]
第4回(4/21)	今日の講話を、後輩に説明する文章を執筆する
第5回(4/28)	自己分析と変遷表を使って、自己紹介の文章を執筆する。OB訪問に持参する
第6回(4/28)	自己紹介OB訪問に備えて、口頭での自己紹介の演習
第7回(5/12)	OB訪問(1)
第8回(5/12)	OB訪問(2)
第9回(5/19)	上質なお礼状を書くために.....石丸忠直氏[石丸文行堂 代表取締役社長] 万年筆を作ろう、自分の万年筆で書こう
第10回(5/19)	訪問先のOBに、お礼状を書く(下書き)
第11回(5/26)	OB訪問の報告会(ppで、各チーム5分程度)
第12回(5/26)	報告会での質疑応答を含めた報告文章を執筆する
第13回(6/2)	登場人物を紹介する文章を書く
第14回(6/2)	読書した本の登場人物の紹介 ボードを使った口頭での相互交流
第15回(6/9)	最終レポート「4人の人物像を書く」を郵送する 社会的システムの活用、郵送マナーの実行 * 4人.....原田氏、石丸氏、訪問したOB氏、読書した本 の中の人物
第16回(6/9)	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594005301	科目番号 / Course code	05940053
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	法学入門[人文・社会科学科目] / Introduction to Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井畑 陽平		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	井畑 陽平		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	井畑 陽平		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ibata nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	研究室が片淵キャンパスにあるため、講義後、教室にて質問されることを推奨する。講義後、幾分か時間を取るように配慮する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生活や経済活動をする上で生じうる問題について、法律が、実際どのように解決しているのかを学習する。		
授業到達目標/Course goals	日常生活や経済活動と法と関わりについて理解する 法的なものの考え方(法的思考方法)について理解する これらを通じて、日常生活や経済活動を行ううえで生じる紛争について、どのような機能と役割を果たしているかを理解できるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義終了時に、随時、課題レポートの提出を求める。基本的には、提出された課題レポートの成果により、評定する(90%)。 なお、特に、講義中、教員が投げかけた質問に対して積極的に意見を述べたり、講義内容に即した質問を教室で共有した学生について、申告に応じて積極的に加点したい(10%)。 なお、履修者多数(今のところ、50名を基準として考える予定)のとき、定期試験(100%)により評定することとしている。 このあたりは、履修者数に左右されるため、詳細は、講義時、教室で周知する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前予習としては、配付される講義資料に目を通し、よく分からない用語について辞書等で調べることが求められる(2h)。事後学習としては、講義で得た知識をノート等に整理することが求められる(2h)。		
キーワード/Keywords	民事法、刑事法、行政法、法的三段論法		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書として、 有斐閣が刊行する『ポケット六法』最新版(2021年度第1Qであれば、令和3年度版となる)		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	講義資料 (レジュメ等) は、LACSに掲示します。基本的に教室で配付しないので、必要であれば、各自で印刷して教室に持参すること。履修する学生の数が多いときには、講義時間中に、教室でアクセスしにくいケースもあるので、ダウンロードしたり、予め印刷したりするようにお願いします。 できれば、有斐閣が刊行する『ポケット六法』最新版 (2021年度第1Qであれば、令和3年度版となる) を入手して下さい。1冊手元にあってもよいと思います。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	<a href="https://www.courts.go.jp/saikosai/index.html">https://www.courts.go.jp/saikosai/index.html</a> 最高裁判所 <a href="https://www.nichibenren.or.jp/">https://www.nichibenren.or.jp/</a> 日本弁護士連合会 <a href="http://www.kensatsu.go.jp/top.shtml">http://www.kensatsu.go.jp/top.shtml</a> 検察庁 たまには、このようなサイトをご覧になるのもよいかもしれません。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	井畑陽平 / JICAの途上国政府関係者向け研修講師を務めた経験を活かし、学生の視野を広げるとともに、それを身に付けるために自らが考え行動することを促す。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション
2	消費者被害と民法、刑法、行政法
3	金銭貸借 (お金の貸し借り) と民法、刑法・行政法
4	交通事故と民法、刑法、行政法
5	路上喫煙と行政法、刑法、民法
6	短期雇用 (アルバイト) と民法、刑法、行政法
7	生活保護と民法、行政法、刑法
8	廃棄物 (ゴミ) の不法投棄と民法、行政法、刑法
9-11	社会における格差の解消と行政法、刑法、民法
12-14	家族関係と法 行政法、民法、刑法
15	授業内容の確認と総括

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594005302	科目番号 / Course code	05940053
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	法学入門[人文・社会科学科目] / Introduction to Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO, 菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro, 本庄 萌		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO, 菊池 英弘 / Kikuchi Hidehiro, 本庄 萌		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	西久保 h-nishikubo@nagaskai-u.ac.jp 菊池 hkikuchi@nagasaki-u.ac.jp 本庄 追って連絡します		
担当教員研究室/Office	西久保 環448 菊池 環406 本庄 追って連絡します		
担当教員TEL/Tel	西久保 095-819-2717 菊池 095-819-2725 本庄 追って連絡します		
担当教員オフィスアワー/Office hours	西久保 木曜日1200-1300 菊池 水曜日1100-1200 本庄 追って連絡します		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	法とは何か、法の意義と役割、法の支配など法に関する基本的な考え方と知識を学ぶとともに、日本国憲法に基づく個人の尊重、国民の権利の保障、裁判員制度を含む司法の仕組みなどの国のなりたちや、家族、契約、財産、労働など私たちの暮らしに関係する法のあらましを学びます。		
授業到達目標/Course goals	法に関する基本的な考え方及び知識、日本国憲法に基づく国の仕組み、及び私たちの暮らしに関係する法の概略を理解し、その概要を説明できることが本授業の到達目標です。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験(80%)、授業への積極的な取組状況(20%)の割合で評価します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: LACS上に事前に講義資料を掲載するので、あらかじめ目を通して分からない点を確認しておく(2h) 復習: 講義資料により復習を行い、講義内容を理解しているか確認する(2h)		
キーワード/Keywords	法の支配、基本的人権、三権分立、罪刑法定主義、契約の自由		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書: 「法学入門(第6版補訂版)」末川 博倫(2014年)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	本授業の資料は主体的学習促進支援システム（LACS）で提供します。	
学生へのメッセージ/Message for students	法律というとなんだか難しそうですが、私たちが生まれた時から身近にあるものであり、トラブルに巻き込まれたときはもちろん、そうでなくても日常生活の中に常について回るものですので、この授業で法学の基礎について学んでいただければと考えています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	イントロダクション：西久保、菊池、本庄	A
第2回	家族と法(参考書第10講)：西久保	A
第3回	契約の自由(参考書第11講)：西久保	A
第4回	財産(参考書第12講)：西久保'	A
第5回	損害賠償(参考書第13講)：西久保	A
第6回	労働者の権利(参考書第14講)：西久保	A
第7回	近代国家と憲法、権力分立(参考書第6講、第7講)：菊池	A
第8回	基本的人権(参考書第8講)：菊池	A
第9回	'基本的人権(参考書第8講)：菊池	A
第10回	犯罪と処罰(参考書第9講)：菊池	A
第11回	法学を学ぶにあたって、法とは何か(参考書序講及び第1講)：本庄	A
第12回	法の発展(参考書第2講)：本庄	A
第13回	法と裁判、裁判の基準(参考書第3講及び第4講)：本庄	A
第14回	法の解釈(参考書第5講)：本庄	A
第15回	まとめ：西久保、菊池、本庄	A
第16回	筆記試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 水 / Wed 4
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20210594005501	科目番号 / Course code	05940055
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	民俗学で学ぶ日本の文化[人文・社会科学科目] / Japanese Folklore Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	才津 祐美子 / Saitu Yumiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	才津 祐美子 / Saitu Yumiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	才津 祐美子 / Saitu Yumiko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	saitsu.kogi@gmail.com(メールを送信するを@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 14:30 - 16:00 事前にメールで連絡をください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	われわれはよく「日本(文化)」という表現を用いるが、果たしてそれはどのようなものを指しているのだろうか。本講義では、日本の文化 - とりわけ人々の暮らしにまつわる文化を研究してきた民俗学の観点から、日本における文化の類似と相違、あるいは継承と断絶について考察することで、今まで何気なく接してきたであろう身の回りの文化の再認識を目指す。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本民俗学の成立過程や研究方法、研究対象について説明できるようになる。</li> <li>・日本人の暮らしの変化について説明できるようになる。</li> <li>・地域文化の多様性について理解できるようになる。</li> <li>・今まで何気なく接してきた身の回りの民俗(文化)に気づき、目を向けるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ミニツツペーパー(40点)、期末レポート(60点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】LACS上でレジュメや参考資料を配布するので、授業前に読み、わからない言葉などは調べておくこと。(2h) 【復習】授業の内容を復習し、理解を深めること。(2h)		
キーワード/Keywords	文化、民俗学、日本、地域、暮らし、文化資源		
教科書・教材・参考書/Materials	基本的にはLACSを用いて講義資料を配布する。参考文献に関しては、講義内で適宜紹介する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			



アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	毎回授業の最後に提出するミニツツペーパーを利用して、授業に積極的に関わってください。本授業を日本あるいは自分自身を相対化するきっかけにできればと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	本講義をはじめる前に - 「文化」再考
第2回	「民俗学」って何だろう？
第3回	日本民俗学の先達者・柳田國男
第4回	現代にも広がる民間伝承の世界
第5回	民俗学の研究方法
第6回	民俗学的調査の基本-インタビュー調査を中心に
第7回	インタビュー調査の実践
第8回	イエ
第9回	年中行事
第10回	通過儀礼
第11回	ムラ
第12回	世界遺産に暮らすということ
第13回	世界遺産に暮らすということ
第14回	カミとヒト
第15回	祭りの現在
第16回	全体の総括と期末レポート